

2018年5月1日

CA Technologies、エンタープライズ・アジャイル・プランニング・ツールの Magic Quadrant レポートにおいて 2 年連続で「リーダー・クアドラント」に位置付けられる

(本資料は、2018年4月25日に米 CA が発表した情報の抄訳です)

(2018年4月25日、ニューヨーク発)

CA Technologies (本社：米国ニューヨーク州、マディソン・アヴェニュー、CEO：マイケル・グレゴア) は、米大手調査会社ガートナーの『[2018 Gartner Magic Quadrant for Enterprise Agile Planning Tools](#)』(*) において「リーダー」の位置づけを獲得したことを発表しました。

[CA Agile Central](#) は開発チーム向けに[アジャイル開発を普及させる](#)目的で構築されたエンタープライズクラスのプラットフォームであり、Team Board、Capacity Planning、Release Tracking などが含まれています。

「Magic Quadrant for Enterprise Agile Planning Tools」レポート内での位置づけ

本レポートは、各ベンダーがそれぞれのビジョンの実行可能性と完全性という 2 つの主要基準に基づいて評価されました。また、ガートナーによれば、アジャイルの採用はこれまでは主に現場サイドから推進されてきましたが、エンタープライズクラスのアジャイル開発は、大規模なソフトウェア管理のニーズを満たすプロジェクトレベルのアジャイルを求める自然な進化と言えます。

多くの場合、アジャイルチーム自体のニーズは管理側のニーズとは異なるため、さまざまなツールが使用されてきました。現在は、新しいタイプの問題へのソリューションの迅速なデリバリーを求めるデジタル・ビジネス・イニシアチブによって、アジャイルのトップダウン戦略の一環で採用が拡大しています。

CA Technologies アジャイル・マネジメント担当シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャ Surya Panditi

モダン・ソフトウェア・ファクトリとして成長するため、今日の企業は競合他社よりも短時間で顧客価値を提供することに全力をあげる必要があります。これには柔軟性と対応力が必要となりますが、このような能力は戦略、実行、デリバリーの強力な連携があって初めて得られます。これらの能力を得た企業は、顧客のニーズや市場の変化に適応する能力を維持しながら、より優れた製品をより早く提供できるようになります。CA Agile Central は、あらゆるチーム内あるいはチーム間でエンタープライズ機能とその使いやすさによって、ユーザーが日々の仕事に最も関連性の高い情報にすばやくアクセスし、組織の幅広い戦略に対応できるようにしてくれます。

ボトムアップかトップダウンかを問わずスケールリングできるよう考慮されている CA Agile Central は、チームを強化し、より優れた事業成果をもたらす、大きなイノベーションを引き起こすことが可能な最高峰のアジャイル・ソフトウェアであり、導入した企業は今日の激しく変化を続ける市場に即座に対応可能な俊敏性を備えることができます。

本レポートの無償版の入手をご希望の場合は、
[Magic Quadrant for Enterprise Agile Planning Tools](#) からお申込みください。

CA Agile Central の詳細については以下の URL をご覧ください。
<https://www.ca.com/us/products/ca-agile-central.html>

* 「Gartner, Magic Quadrant for Enterprise Agile Planning Tools」。Keith James Mann、Thomas E. Murphy、Nathan Wilson、および Mike West による共著。2018 年 4 月 23 日刊。

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、
<<http://www.ca.com/us.html>>(米 CA Technologies)、<<http://www.ca.com/jp>> (日本)をご覧ください。
また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

***本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。**

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先：

CA Technologies
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115
e-mail : ca-pr@kyodo-pr.co.jp